

## ●世界の主な地震

平成 27 年（2015 年）7 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

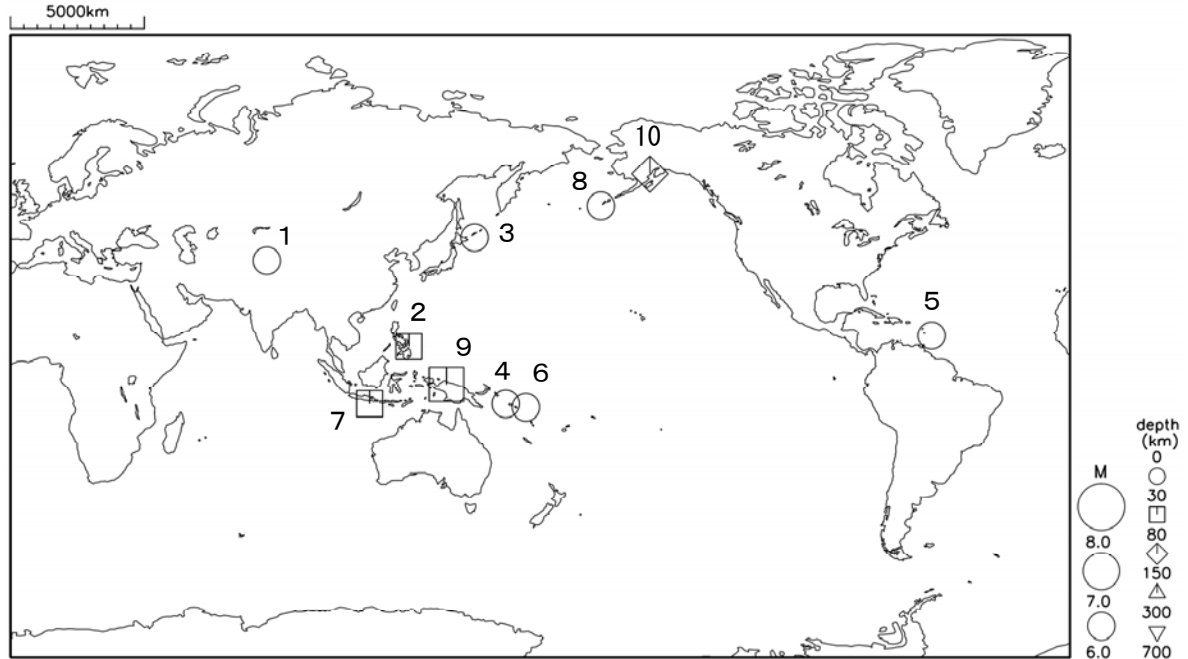


図 1 平成 27 年（2015 年）7 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

\* : 震源要素は米国地質調査所 (USGS) ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2015 年 8 月 3 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素は気象庁による。

\*\* : 数字は、表 1 の番号に対応する。

\*\*\* : マグニチュードは表 1 の mb (実体波マグニチュード)、Mj (気象庁マグニチュード)、Mw (モーメントマグニチュード) のいずれかを用いて表示している。

表 1 平成 27 年（2015 年）7 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	07月03日10時07分	N37° 28.0′	E 78° 08.1′	20			6.4	中国、シンチアンウイグル自治区南部	死者6人、家屋倒壊3000棟など		
2	07月03日15時43分	N10° 10.2′	E125° 53.9′	33			6.1	フィリピン諸島、レイテ			
3	07月07日14時10分	N43° 40.5′	E147° 50.3′	1		6.3	(6.3)	北海道東方沖			
4	07月10日13時12分	S 9° 18.8′	E158° 25.3′	10			(6.7)	ソロモン諸島		○	○
5	07月17日00時16分	N13° 51.3′	W 58° 33.0′	10			6.5	北大西洋			
6	07月18日11時27分	S10° 26.6′	E165° 10.2′	10			(6.9)	サンタクルーズ諸島	ソロモン諸島のラタで9cmなどの津波を観測	○	○
7	07月26日16時05分	S 9° 14.8′	E112° 41.6′	59			6.0	インドネシア、ジャワ南方			
8	07月27日13時49分	N52° 26.5′	W169° 35.7′	27			6.9	アリューシャン列島フォックス諸島			
9	07月28日06時41分	S 2° 40.9′	E138° 30.5′	48			(7.0)	インドネシア、パプア		○	○
10	07月29日11時35分	N59° 54.3′	W153° 08.9′	117			6.3	米国、アラスカ州南部			

・震源要素は米国地質調査所 (USGS) ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder”

(<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2015 年 8 月 3 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。

・被害は、新華通信社による (2015 年 7 月 4 日現在)。海外の津波観測施設の観測値は米国海洋大気庁 (NOAA) による (2015 年 8 月 6 日現在)。

・地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。

・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (地震・火山月報 (防災編) 2005 年 5 月号参照) を発表したことを表す。

・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地震に関する情報」を発表したことを表す。

# 7月10日 ソロモン諸島の地震

## 7月18日 サンタクルーズ諸島の地震

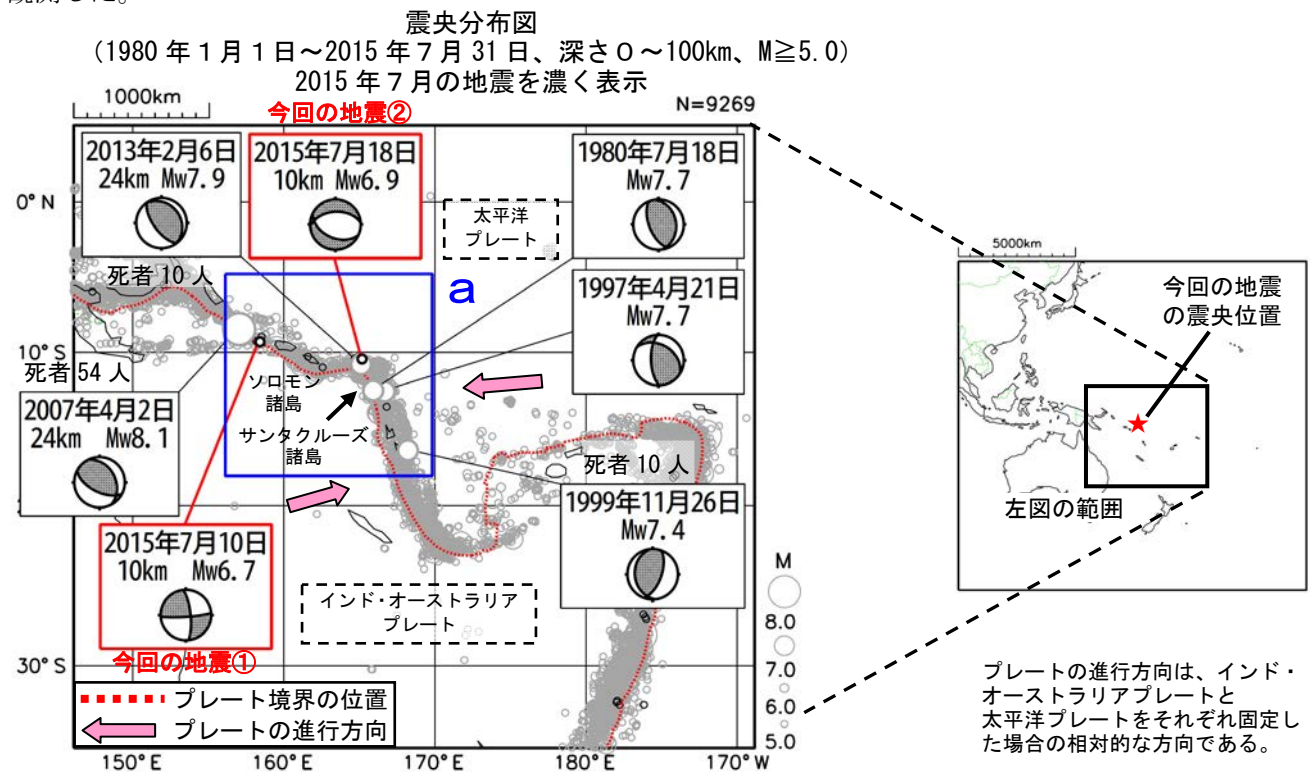
2015年7月10日13時12分（日本時間、以下同じ）に、ソロモン諸島の深さ10kmでMw6.7の地震①が発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は北東-南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

気象庁は、この地震について、同日13時40分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。

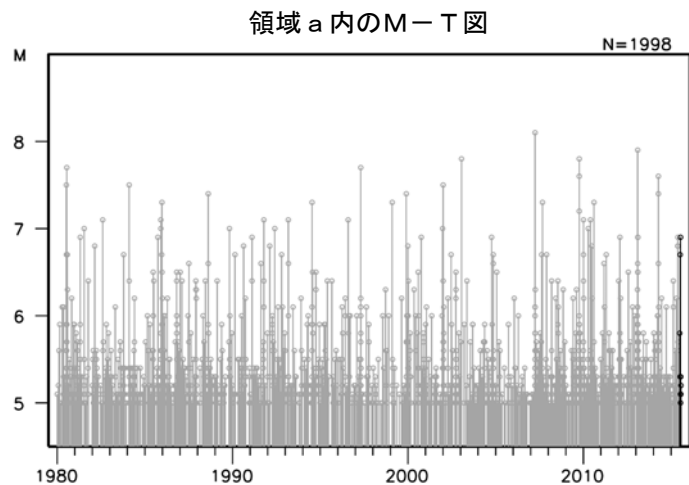
また、2015年7月18日11時27分に、サンタクルーズ諸島の深さ10kmでMw6.9の地震②が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は南北方向に張力軸を持つ正断層型である。この地震により、ソロモン諸島のラタで9cmなどの津波が観測された。

気象庁は、この地震について、同日12時04分（日本への津波の有無について調査中）と12時35分（日本への津波の影響なし）に遠地地震に関する情報を発表した。

1980年以降の活動を見ると、今回の地震①、②の震央周辺（領域a）では、M7.5を超える地震が時々発生している。2013年2月6日にはMw7.9の地震が発生し、ソロモン諸島のラタで104cmなどの津波を観測した。日本国内でも、北海道から九州地方にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆・小笠原諸島で津波を観測した。



領域 a 内において、今回の地震①、②、M7.9以上の地震、及び死者10人以上の地震に吹き出しを付けた。



※本資料中、今回の地震及び2009年以降の地震の発震機構とMwは気象庁による。その他の地震の発震機構とMwはGlobalCMTによる。震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2015年8月3日現在)。2013年2月6日の地震の被害はUSGSによる。その他の被害は、宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターによる「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)\*より引用。海外の津波観測施設の観測値は米国海洋大気庁(NOAA)による(2015年8月6日現在)。

\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

# 7月28日 インドネシア、パプアの地震

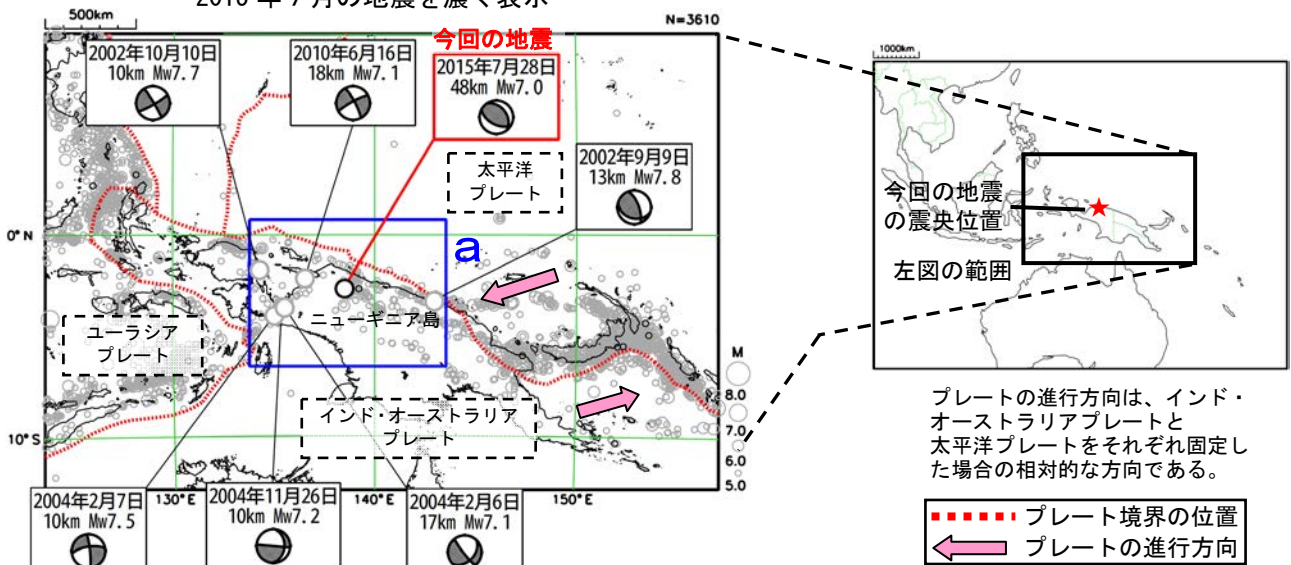
2015年7月28日06時41分(日本時間、以下同じ)に、インドネシア、パプアの深さ48kmでMw7.0の地震が発生した。この地震の発震機構(気象庁によるCMT解)は北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとインド・オーストラリアプレートの境界付近で発生した。

2000年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、M6.5を超える地震が時々発生している。2004年2月6日にはMw7.1の地震、翌7日にはMw7.5の地震が発生し、現地では死者37人、負傷者682人の被害が生じた。

1970年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、M7.0以上の地震が頻繁に発生している。1996年2月17日にはM8.1の地震が発生し、父島で104cm、八丈島で86cmなど、日本でも津波を観測した。1998年7月17日のM7.1の地震では、津波により死者2700人、負傷者数千人などの被害が生じた。

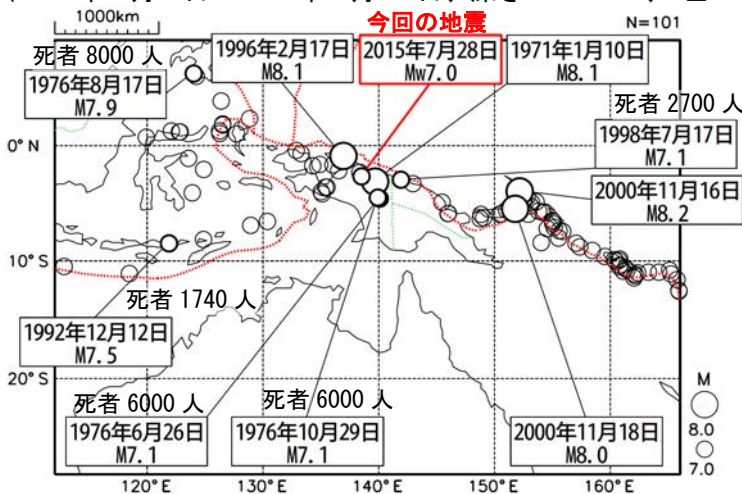
なお、気象庁は同日07時12分に遠地地震に関する情報(津波の心配なし)を発表した。

震央分布図  
(2000年1月1日~2015年7月31日、深さ0~100km、M≥5.0)  
2015年7月の地震を濃く表示



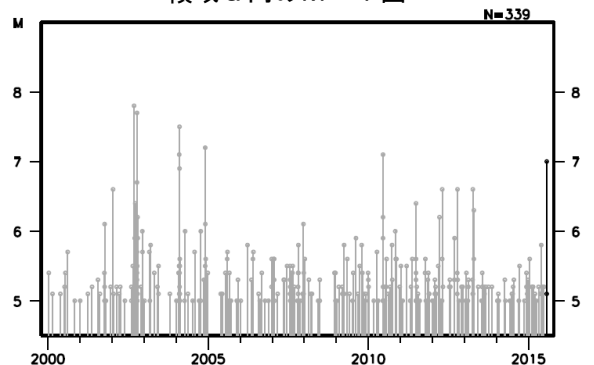
領域a内において、今回の地震、及びその他のMw7.0以上の地震に吹き出しを付けた。

震央分布図  
(1970年1月1日~2015年7月31日、深さ0~100km、M≥7.0)



今回の地震、M8.0以上の地震、及び死者1000人以上の地震に吹き出しを付けた。

領域a内のM-T図



※本資料中、今回の地震及び2009年以降の地震の発震機構とMwは気象庁による。その他の地震の発震機構とMwはGlobalCMTによる。震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2015年8月3日現在)。過去の被害は、宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターによる「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)\*より引用。

\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.